東　京　散　歩

隅田川散策

久しぶりの投稿となりました。冬晴れの一日、隅田川のテラス（白鬚橋～築地大橋）を散策しました（コロナ感染者の増加が気になりながら）。数年来この時期、天気の良い日を選んで歩いていますが、今年は予想通り行き交う人は少なく、安心してシャッターを切ることができました。

橋梁やテラス等に変化（歩道橋やテラス連絡橋の新設、防潮堤の整備）が認められましたので、新旧の比較を試みながら紹介させていただきます。

また、東京スカイツリーの鮮やかさが目立った一日でもありました。

1.「すみだリバーウォーク」の新設

東武スカイツリーライン隅田川橋梁の下流側に歩道橋が開通しました（令和２年６月）。

この写真は下流側に架かっている吾妻橋から撮影したものです。人の姿が見えた時には、信じられない光景であり、一瞬目を疑ってしまいました。

橋梁の新旧比較

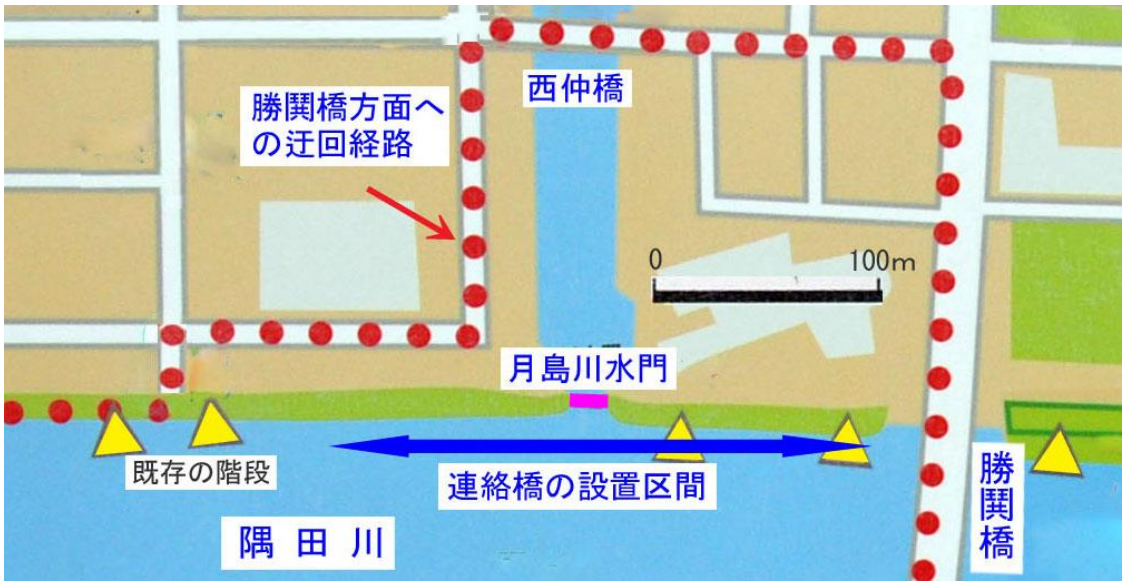
この「すみだリバーウォーク」を通れば浅草から隅田川を超えて、東京スカイツリータウンや同時期にオープンした新商業施設**「東京ミズマチ」**（隅田公園と北十間川の親水テラスに囲まれた東武鉄道の高架下に設置された、12 店舗、ホテル、産業支援施設が一体となった高架下複合施設）まで行くことができます。

2. 「月島川水門テラス連絡橋」の新設

隅田川テラスでは河川の流れ込みで数か所の迂回個所があります。勝鬨橋上流側（左岸）の月島川もその一つでしたが、月島川水門西側でのスロープと架橋工事が完成し、令和２年９月以降は迂回の必要がなくなりました。テラスを直進できるようにはなりましたが、テラスそのものが有する趣が失われたようで一抹の寂しさがあります。

連絡橋の対岸やや上流側からの景観

下の画像は、勝鬨橋付近に設置されているテラス案内図を参考にして作成したものです。連絡橋の位置関係等を推測してください。



月島川水門の新旧比較

3. 築地大橋の上流側歩道部の開通

築地大橋の下流側歩道部は令和元年の開通でしたが、上流側も開通していました。これにより、勝鬨橋を下流側正面から撮影することが可能となりました。また、築地市場跡地も撮影できました。

4. 勝どき 5 丁目緑地の堤防が新たに防潮堤として完成

築地大橋下流側 200～300ｍほどの位置にある緑地の堤防が防潮堤として整備されていました（令和 2 年 9 月頃?)。これにより、築地大橋の下流側からの撮影が容易になりました。堤防沿いに東京海洋大学の汐路丸が係留されていましたが、移設されたとのことでした。

5. 冬晴れの中、東京スカイツリーがよく目立ちました。
代表して厩橋（うまやばし）を紹介します。